

サイト内検

カテゴリを選択

検索方法

[ホーム](#) > [健康・福祉・子育て](#) > [健康・医療](#) > [流行疾患](#) > [麻しん\(はしか\)について](#)

更新日：2018年4月26日

麻しん(はしか)について

麻しん(はしか)に注意しましょう

沖縄県で麻しん患者の発生が続いています！

平成30年3月沖縄県内で旅行者が麻しんと診断され、この旅行者と接触歴のあったかたや同じ施設を利用したかたを中心に、沖縄県内で麻しん患者の発生が続いています。また、3月末から4月初めに沖縄県を訪れた愛知県在住のかたが麻しんの診断を受けています。

旅行等で沖縄県や愛知県への滞在歴があり、麻しんを疑う症状がある場合は、病院へ事前連絡をし、麻しん患者と接触したかたかもしれない(沖縄県や愛知県等への滞在歴がある)こと、現在の状況を告げ、病院の指示に従い受診してください。

麻しんを疑う症状とは：

発熱、鼻汁、咳、くしゃみ、結膜充血、目やになど。一時的に熱が下がり、再び上がる。その際に発疹が見られる。(発疹は、耳の後ろから顔面、体幹、手足へと広がる。)

麻しん(はしか)とは

麻しんは、感染力が極めて強い麻しんウイルスにより空気感染する急性の発しん性疾患です。感染すると、38度前後の熱が数日続き、いったん解熱した後を高熱とともに発疹が出現します。通常は1週間から10日前後で回復しますが、合併症として肺炎や脳炎を発症して重症化する場合があります。特別な治療法はなく、症状を楽にする治療となります。

麻しんについてのご相談は、[兵庫県芦屋健康福祉事務所\(電話番号32-0707\)](#)にご相談ください。

麻しん(はしか)に関する情報

麻しんについての詳しい情報は、次をご参照ください。

[沖縄県に関連する麻疹患者の発生状況について\(国立感染症研究所ホームページ\)](#) (外部サイトへリンク)

[麻しん\(はしか\)患者の発生について\(沖縄県ホームページ\)](#) (外部サイトへリンク)

[沖縄へのご旅行・ご出張を予定されている皆さまへ\(沖縄県ホームページ\)](#) (外部サイトへリンク)

[麻しんに関するQ&A\(厚生労働省ホームページ\)](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウが開きます)

[国立感染症情報センター](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウが開きます)

[麻しんについて\(兵庫県ホームページ\)](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウが開きます)

[兵庫県感染症情報センター](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウが開きます)

麻しんの予防について

麻しんは感染力が強く、空気感染もするため、手洗い・マスクのみでの予防はできません。麻しんの予防接種が一番有効な方法と言えます。また、麻しんの患者さんに接触した場合、72時間以内に麻しんワクチンおよび麻しん風しん混合(MR)ワクチンの接種をすることも効果的であると考えられています。

下記の定期予防接種対象者以外は、任意接種となります。

接種を希望されるかたは、お近くの医療機関へお問い合わせください。

定期の予防接種について

定期の予防接種対象者は、できるだけ早く接種を受けましょう！

【麻しん風しん混合(MR)ワクチンの接種スケジュール(定期接種)】

1期 生後12か月～24か月に至るまで

2期 小学校入学前1年間(平成30年度対象者：平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ)

[麻しん風しん\(MR\)混合予防接種について\(芦屋市ホームページ\)](#)

芦屋市

サイト内検

カテゴリを選択

検索方法

[ホーム](#) > [健康・福祉・子育て](#) > [健康・医療](#) > [流行疾患](#) > [麻しん\(はしか\)について](#)

更新日：2018年6月12日

麻しん(はしか)について

麻しん(はしか)の発生状況について

沖縄県で麻しん(はしか)流行の終息宣言が出されました。

本年3月20日に沖縄県で麻しん(はしか)患者が報告され、注意喚起を行ってまいりましたが、沖縄県では、5月11日に医療機関を受診した患者を最後に4週間新たな患者が発生していないため、6月11日に麻しん(はしか)流行の終息宣言が出されました。

[沖縄県ホームページ\(外部サイトヘリンク\)](#) (別ウィンドウが開きます)

海外では、麻しん(はしか)が流行している国があります。

一方、海外では依然麻しん(はしか)が流行している地域もありますので、継続して注意が必要です。

東南アジア、欧州等麻しんが流行している地域に渡航される際は、麻しんの予防接種歴、罹患歴を確認しましょう。

また、帰国後、麻しんを疑う症状がある場合は、病院へ事前連絡をし、麻しん患者と接触したかもしれない(流行地域への滞在歴があること)、現在の症状を伝え、医療機関の指示に従い受診してください。

麻しんを疑う症状とは：

発熱、鼻汁、咳、くしゃみ、結膜充血、目やになど。一時的に熱が下がり、再び上がる。その際に発疹が見られる。(発疹は、耳の後ろから顔面、体幹、手足へと広がる。)※すべての症状が出現するとは限りません。

[FORTH\(厚生労働省検疫所ホームページ\)\(外部サイトヘリンク\)](#) (別ウィンドウが開きます)

麻しん(はしか)とは

麻しんは、感染力が極めて強い麻しんウイルスにより空気感染する急性の発しん性疾患です。感染すると、38度前後の熱が数日続き、いったん解熱した後に高熱とともに発疹が出現します。通常は1週間から10日前後で回復しますが、合併症として肺炎や脳炎を発症して重症化する場合があります。特別な治療法はなく、症状を楽にする治療となります。

感染の拡大を予防するためにも、健康状態をご留意いただき、麻しんを疑う症状が認められた場合は、医療機関に事前連絡をし、「麻しんかもしれない」ことを伝えてから、指示にしたがって受診するようにお願いします。

[麻しんについてのご相談は、兵庫県芦屋健康福祉事務所\(電話番号32-0707\)にご相談ください。](#)

麻しんの予防について

麻しんは感染力が強く、空気感染もするため、手洗い・マスクのみでの予防はできません。麻しんの予防接種が一番有効な方法と言えます。また、麻しんの患者さんに接触した場合、72時間以内に麻しんワクチン及び麻しん風しん混合(MR)ワクチンの接種をすることも効果的であると考えられています。

下記の定期予防接種対象者以外は、任意接種となります。

接種を希望されるかたは、お近くの医療機関へお問い合わせください。

定期の予防接種について

定期の予防接種対象者は、できるだけ早く接種を受けましょう！

【麻しん風しん混合(MR)ワクチンの接種スケジュール(定期接種)】

1期 生後12か月～24か月に至るまで

2期 小学校入学前1年間(平成30年度対象者：平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ)

[麻しん風しん\(MR\)混合予防接種について\(芦屋市ホームページ\)](#)

[風しん予防接種費用助成事業について\(芦屋市ホームページ\)](#)

[麻しん風しん混合\(MR\)ワクチン接種の考え方\(国立感染症研究所\)\(外部サイトヘリンク\)](#)